

11月17日(土)

会場：あすと第一 復興住宅
参加：無料

どなたでもご参加頂けます

ごぜん **11時**
～ **3時**
ぐらい

あすと長町 こどもたちがおもてなしする
コミュニティアート食堂

こども食堂

× おしるこカフェ

はらこ飯だよ全員集合!

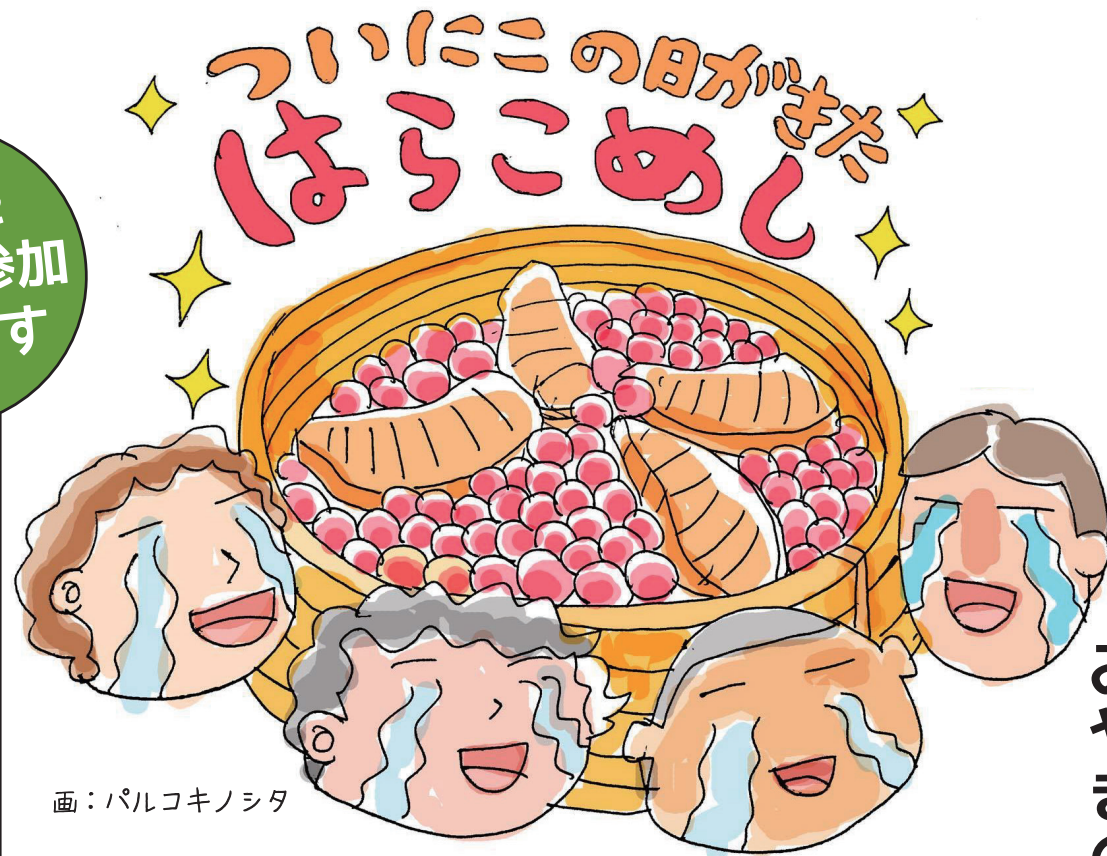
大友さんが仕入れてきたはらこ鮭で
あすと名物はらこ飯が誕生します



もちろのおしるこも!
下山せんが干葉で
おいしく小豆を
煮て来ます!



【短信】11月28日から年内いっぱいインドネシアのアチェに行ってきます。これまでに来日したメンバーたちも大活躍の「アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト 2018」が開催されます。9月に来日しサテを作ってくれたヌルさんは孤児院でおしるこを出すそうですよ!



画：パルコキノシタ

みやぎの味

はらこ飯

先月はテーブルにおいていた鉄板で、みんなで作るお好み焼き、美味しかったですね!

塗り絵を持ってくる謎の仙台四郎パルコさんの関西人ならではの活躍ぶりには目をみはるものがありました。

さて、今月はいよいよ宮城食の博覧会「はらこ飯」編となります。おしるこカフェ史上本の指に入る見事な伝統食がoshirukoガールズたちによって降臨、末長く語り継がれていくことになるとしよう。

どなたでも無料でご参加いただけますので、ぜひお誘い合わせの上、おこしく下さい!(無くなり次第終了です)

駄菓子の「梅ジャム」を5個も買いました。梅ジャムが販売終了になると聞いたからです。でも、終了した梅ジャムは置いていませんでした、なかなか美味しかったです。

1974年から70年もの間、87歳のおじいさんがずっと一人で作り続けていたそうです。てっきり、すごく大きな工場での分らない材料から量産しているのかと。なんと寂しい。梅ジャムは何も付けず、袋の切れ端からそのまま吸うのが大好きでした。

ある地元の老舗バーでウイスキーの飲み方を学んだ時、マスターが作ったというチーズケーキが、この上なく上品で美味しかったです。でもマスターがいつか居なくなったら、この味はなくなる。そう思ったとき、マスターは「失うことも、時には良いもんですよ」と微笑んでいました。

息が長いものでもいつかは無くなりますね。でも、無くなるから追いかけてくれるもの。生きていく間に、少しでも多くの「良いもの」に触れてゆければ、人生が豊かになる気がします。



姉評連載
エッセイ

あすと長町



通信



題字とくまのんのイラスト：まなみちゃん

この活動は、2012年1月から、いろいろな方が集い、出会う場所になればとの思いで、さまさまな人の輪により毎月一回、あすと長町エリアで開催しています。

【主催】あすと長町こども食堂・おしるこカフェ、あすと長町市営住宅心まわり会、長町第3復興住宅自治管理組合、あすと長町コミュニティ構築を考える会、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人MMIX Lab.、一般社団法人アート・インクルージョン、一般社団法人まちとアート研究所
【共催】宮城教育大学村上タカカン研究室
【助成】復興庁「心の復興」事業
【問合せ】門脇篤 080-4337-7035 info@kadowakart.com

2018年11月
第86号